

## 国道23号バイパス試掘調査

国道23号線バイパス予定地内 額田郡幸田町須美・桐山地区における遺跡の有無およびその範囲の確認を目的に下記の3地点について試掘坑を総計で20箇所設けた。調査期間は平成2年6月6～8日・11日で、調査面積は214㎡である。

第1地点 額田郡幸田町大字須美字南浦地内

トレンチNo.1～No.7 7箇所

各トレンチとも遺構・遺物の検出・出土なし。

第2地点 額田郡幸田町大字須美字石原・不馬入地内

トレンチNo.1～No.6 6箇所

トレンチNo.5において江戸時代（18世紀）の遺構・遺物を検出。

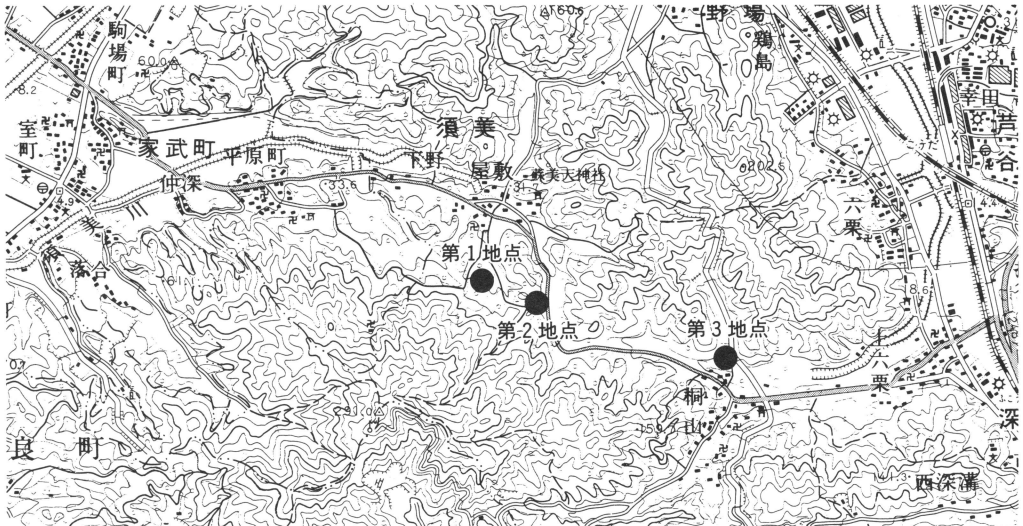
第3地点 額田郡幸田町大字桐山字広坪地内

トレンチNo.1～No.7 7箇所

トレンチNo.1にて溝・土坑の一部が検出され弥生土器（山中～欠山式）が出土した。トレンチNo.3の黒色土中より縄文土器（後～晩期）が出土。

以上より、第1～3地点のうち第2地点（江戸時代）・第3地点（縄文・弥生時代）について遺跡であることを確認し、前者を不馬入遺跡、後者を広坪遺跡と命名した。

（北村和宏）



調査地区 位置図 (1 : 50,000)